

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	MIRAIうるま		
○保護者評価実施期間	令和8年 4月 1日		～ 令和8年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	令和8年 4月 1日		～ 令和8年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 5月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援者全員が資格を持った職員である	専門職同士で話し合いを行い、他専門職と会議を行うことでより活発な会議が行えて支援方法を決定している	勉強会や研修会の参加を積極的に行うようにする
2	事業所の立地が良く送迎が容易	スクリレや保護者との連絡を密に行って連携を図っている	学期始めや学期末にはさらに他事業所とも情報交換を行い、お迎え時間の確認を行っている
3	事業所の近くに公園がある	公園活動を好む児童には公園活動を多くしている。また地域の子ども達とも関わりを持つことで地域に戻る気持ちを高めている	同じ公園ばかりではなく、いろんな公園に行って飽きないように、また、たくさんの地域の児童と関われるようにしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	イベント活動がある	夏には海に行ったり、バーベキューをしたり、冬にはハロウィンパーティなど季節のイベントを企画し、実施しています	家族ではなかなかできないイベントを子供たちと相談して取り組んで行きたい
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	MIRAIうるま		公表日		令和8年 5 月 10 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	適正人数になるように契約、利用計画を保護者と相談しています	活動に応じて野外をしスペースを確保している
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		各部屋に職員がいるように配置を考えています	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		手すりをつけています	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		児童の帰宅後には清掃と消毒を毎日行っています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		必要な際には事務所や相談室の使用も行っています	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		全職員で行っています	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		全職員で共有しています	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		ミーティングや面談で意見を聞くように努めています	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9		今後は検討してみたいと思います
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		事業所内研修は行っているが外部研修は促して希望者がいる場合に参加しています	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		公表しています	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		アセスメント・モニタリングを行い相談員共有して作成していますと	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		事前会議を開催しています	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		職員が閲覧しやすいように支援記録をまとめており、事業所内会議の際にはそれを基に行っています	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		活動記録や支援記録を毎日記入して確認を行っています	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		出来る限り具体的な支援内容を設定して、見直しや修正も行っています	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		職員全員で行っています	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		児童の状況や人数を考慮して日々考えて行っています		
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		児童の状況に合わせた支援を行っています		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		毎朝の朝礼で確認事項や連絡事項を伝えて います	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		状況によっては翌朝に行うこともあります	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		日々支援記録を記入し、検討し改善があれば 適宜会議を開催しています	
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		決まった時期だけでなく必要と感じればその 行っています都度	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	9		組み合わせた支援を行っています	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		選択肢を提示して分かり易い選択をはじめ、 意思決定しやすい環境を作っています	
関係機 関や保 護者との 連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		児発管だけでなく、出来る限り職員も参加し ています	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	3	環境を整えています	協力医療機関に連携し体制を整えている
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		スクリレの登録・確認を行い、メールや電話 等も活用し情報共有を行っています	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9		相談員を通しての会議だけでなく、事業所と しても積極的にを行っています	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	5	卒業に当たる児童がいなく、まだ事例があり ません	就労体験出来る関係を築けるところを検討し ているところ（パン販売など）
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		9		今後の検討課題にします
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	2	外出活動（公園）時には積極的に地域の児童 と関わってもらおうようにしている	他事業所との交流会を企画しているところ です
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	3	現在は参加していません	今後検討します
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		申し送りを丁寧に行っています	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		相談があった場合にはすぐに対応を行って います	ご家族に声掛けし事業所の日常の見学や対応 方法も見てもらえるように検討します
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約や変更があった際には丁寧に説明を行 っています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		担当者会議や児童への聞き取りを行って います	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		会議の際には説明をしてサインを頂いて います	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		適宜行っています	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		9		父母の会の結成が必要かどうかの声掛けを 行ってみます
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		すぐに対応する体制を取っています	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		SNSでの発信や毎月のお便りで行って います	

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		十分配慮しています	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		十分配慮しています	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		9	地域住民との挨拶は行っています	児童・保護者への確認後に検討が必要
非常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		定期的に訓練は行っています	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		定期的に訓練は行っています	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		保護者からの情報を基に、対応に関しては勉強会も行っています	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		保護者や児童からの聞き取りやアセスメントシートを活用しています	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		十分な安全仮の基支援を行っています	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		安全計画は行っています	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		毎朝のミーティングで行っています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		日々の確認や定期的に研修を行っています	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		身体拘束事例はありません	